

平成 29 年 6 月 20 日

6 月の木材価格・需給動向

1. 国産材(北関東)

栃木の丸太生産は間伐作業中心に順調だが、時季的に生産量は減少傾向。荷動きは大手製材工場を中心に積極的な丸太手当が続いている中、虫害材が出始めており材価に変動が見られる。スギは柱材が良好、中目材は横這い。ヒノキは柱材がやや良好、中目材は品薄なのに横這い。丸太価格は品薄感から若干の値上げ。スギは柱材と中目材の良材が強保合で並材は横這い。ヒノキは柱材の引合い強いが中目材は横這いで推移。

群馬の製材工場は全体的には順調に操業しているが、原木事情により多少操業し難い。原木入荷は GW 以降減少し、特にスギ 4m 中目材の集荷が困難。原木在庫は全体的には確保できているが、材種、径級によっては厳しい。製品販売は県内全体では低調だが、首都圏市場からの引合いは良好。製品在庫は全体的に少ない。価格は全般的に低位安定状態。ヒノキ 4m の 9cm と 10.5cm 角類が品薄感から値上がり。

2. 米材

輸出向け丸太の産地情勢は、5 月に入り出材は徐々に回復。今後出材未済の中小手山持の材が出始めると予想。産地港頭在庫は、米国は出材が回復し積み増し中、カナダは悪天候による伐採減で、依然国内在庫が低水準な状態。国内工場より輸出申請材に対するブロックが厳しい状態が続く。ウエアハウザー社の 6 月積み対日米マツ価格は、前月積比で小径木丸太のみ 10 \$ アップで他は据え置き。4 月の米材丸太の入荷量は 182 千 m^3 で、1-4 累計は前年同期比 13%減。出荷量は 213 千 m^3 で出超。在庫量は前月比 31 千 m^3 減の 220 千 m^3 。日本国内の米材工場は前年同期程度の動き。カナダ製材品への反ダンピング課税の判断は 6/23 に出される予定。

米製材品の TLT(東京木材埠頭)5 月の入荷量は 29 千 m^3 (前月比 4.6%増)、出荷量は 29 千 m^3 (同 11.4%増)。在庫量は 49 千 m^3 (同 0.9%増)。4 月の米国住宅着工は、年率換算 122.9 万戸で前年同月比 9.2%増。ランダムレンジス紙発表 6/5 の 15 種木材価格平均は、\$ 409/M で 5 月頭比 4.7%UP。産地価格動向は US 向け、中国向けが引き続き好調で、日本向けは更に値上げが予想される。先行き 5 月

GW 明けから多少の動きがあったものの、迫力に欠ける状況。プレカット工場は好調を維持しているが、それ以外は低調で6月もこの傾向は変わらず。

3. 南洋材

サバは例年以上の長雨と断食月に入り出材量は低迷。今後も原木出材は伸び悩むと予測され、製材品の数量も減少し価格は強含み。サラワクは原木出材の低迷が常態化する中、サバ同様悪天候と断食の影響で低迷続く。課税強化の動きがあり今後の影響が懸念。PNG ソロモンは雨多く出材は不安定。インドネシアも原木出材低迷で、各フリー板の価格は依然強含み。丸太の入・出荷は増加、在庫は横這い、製材品の入荷も横這い。丸太の販売は合板・製材用とも平年並み。製材品は平割や棒類の引合い多いが基本的に当用買い。

4. 北洋材

シベリア地域の伐採・搬出は終了し、夏山伐採は7月後半から本格化。輸入製品は中国、日本の購買意欲が依然高く、原料不足で価格は高止まり。丸太価格はエゾマツ・カラマツ \$ 160、アカマツ \$ 190 で強保合続く。製材品は現地挽きが横這い弱含み、国内挽きは値上げ通らず苦戦中。アカマツ原板は \$ 380 で保合。荷動きは現地挽き 3.0cm×4.0cm 上級グレードが需要停滞。国内完成品は良質グレード、胴縁・ヌキそれぞれ堅調。国内の北洋材製材工場は特注品で採算維持、丸太調達は昨年並みだが原板は依然入荷少ない。

5. 合板

原料丸太のうち国産材の入荷は順調だが、価格は高値張り付き。ロシア材はカラマツが集荷困難で価格は強含み。米材は旺盛な国内需要と中国向けで、原木在庫は少なく価格も強い。南洋材は出材が回復傾向だが価格は高値張り付きのまま。4月の国内合板総生産量 26.4 万 m^3 のうち、針葉樹合板は 25.2 万 m^3 で先月より大幅に減少。出荷量は 25.2 万 m^3 と高水準の状況が続く。在庫量は 9.5 万 m^3 、うち構造用合板は 8.4 万 m^3 で先月と変わらず低水準。国産針葉樹合板の6月販売価格は横這い。今後の需要動向を見据えたメーカーの強気姿勢は不変なため、動きの悪い東日本は流通上の価格乱れは当分続くと予測。

国産針葉樹合板の状況は、西日本は動きが堅調で在庫も低水準のため、メーカーは強気堅持だが、東日本は相場が乱れ所々で安値が散見。輸入合板は5月後半に入り、底値感に加え商社の手持ち在庫の減少から、12mm系を中心にいくらか動き出す状況。先行き国産針葉樹合板は、7月頃に需要が出始め引き締まるとの見方が強いが、直近では乱れた相場が続くと思われる。輸入合板は底値感

を脱し一部に品薄アイテムが出ているが、7月からサラワク州で丸太伐採税の大幅引き上げが予定され、価格は強含みでの推移になると予測。

6. 構造用集成材

6月のラミナ入港は減少する見込み。7月入港分からはラミナ価格が2~3,000円/m³の大幅上昇。6月はQTR3ラミナ交渉が始まり、日本側の引合いが強いのでどう折り合うか注目。製品価格はRW梁桁が現地価格上昇で、7月から60,000円/m³に上昇する見込み。WW・RW柱は競合するスギ、ヒノキEWや無垢材の値段が横這いなので値上げしにくい状況。国産集成材の受注は引続き好調。販売・荷動きとも良いが、WW柱・間柱は一服感あり。販売先行きは受注残で6月も好調を維持。夏以降もプレカットが好調なため7月以降に品不足の可能性。輸入集成材はコンテナ不足やフレート高に加え、丸太不足から今後現地価格は更なる値上げの可能性。

7. 木材チップ

チップ原木の入荷状況は順調で、解体材もおおむね例年並みだが、大手製紙メーカーの定期修理のため一部解体材に余剰感。消費は製紙用は減少だが燃料用は順調。在庫は製紙用が例年並みで燃料用は増加傾向。針葉樹チップ価格は製紙用は横這い、FITは高値材敬遠の動き。輸入チップの発生量は順調、価格は為替レート変動に伴い先行き不透明。国内チップ工場の操業状況は、需要先の定期修理の関係で稼働率が二極化。

8. 市売問屋

国産材の構造材、羽柄材とも荷動き悪い。造作材は動く量が限られており活気が見られない。外材の構造材、造作材ともに市場内での動きは少ない。販売動向はここにきて静かな動きしかなく、土木関係の材の動きも停滞。都内の材木店はリフォームが多く、構造材がまとまって動くことが無くなってきている。(今月から価格調査アイテムを一部変更しました。)

9. 小売

国産材の構造材はスギKD柱・小割・板、ヒノキKD柱・土台いずれも保合。外材はロシアアカマツタルキ保合、米ツガ角・平割とも保合、SPF保合、WW間柱保合。造作材はスプルー・ピーラー平割保合、タモ平割保合。集成材はWW、RWの柱・梁保合。合板は国産針葉樹、輸入品とも保合。プレカット工場は見積・加工とも順調。大工、工務店は新築・リフォームとも忙しさは感じられない。

6月の需給・価格動向

1. 主要外材入出荷在庫量

		入荷量	出荷量	在庫量
米材	丸太	→	→	→
	製材品	→	→	→
北洋材	丸太	→	→	→
南洋材	丸太	→	→	→
	製材品	→		

矢印の表示は今月に対する翌月の動向を、下記のように示したものである。

- ↑ 急増・急上昇
- ↗ 増加・上昇
- 横ばい
- ↘ 減少・低下
- ↓ 急減・急落

2. 合板供給量

国内製造量	輸入量		
	計	インドネシア	マレーシア
↘	↘	↘	↘

3. 価格動向

樹材種	形状	取引条件	樹種・寸法等	動向
国産材	丸太	卸売価格 (北関東、県内産 市場土場渡し)	スギ柱材 (3m) 2等	→
			スギ中丸太 (3.65m) 2等	→
			ヒノキ柱材 (3m) 2等	→
			ヒノキ中丸太 (4m) 2等	→
	製材品 (関東近県産 板は東北産)	首都圏・市売り 価格	スギ柱角 (KD) 10.5×10.5×3m 特等	→
			スギ柱角 (KD) 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ間柱 (KD) 10.5×3.0×3m 特等	→
			スギ加工板 1.3×18.0×3.65m 特等	→
			スギタルキ 3.0×4.0×3.65m	→
			ヒノキ柱角 (KD) 10.5×10.5×3m 特等	→
ヒノキ柱角 (KD) 12.0×12.0×3m 特等	→			
ヒノキ土台角 12.0×12.0×4m 特等	→			
米材	丸太	産地価格	米マツ ISタイプ	↗
		国内卸売価格 (京浜・オントラ)	米マツ ISタイプ コースト	↗
	製材品 (カナダ産・ 現地挽き) (国内挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	米ツガ桁角 (KD) Std&Btr S4S 10.5×10.5×4m	→
			米マツ桁角 (GR) Std&Btr S4S 4・1/8" 13'	→
			米ヒバ土台角 (GR) Std&Btr 4・13/16" 13'	→
米マツ平角 (KD) 特等 10.5×24.0×4m	→			
南洋材	丸太	産地価格	メランティレギュラー	→
		東京・水面筏 渡し価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 製材用	→
		メランティレギュラー 60cm上、4m上 合板用	→	
	製材品	産地価格	ホワイトセラヤ 平割 (サバ州産)	→
東京・問屋店頭 渡し価格		同上2.4cm×込み×4m 定尺1等	→	
北洋材	製材品	国内卸売価格 (京浜・オントラ)	アカマツ (KD) 30×40上級	→
			アカマツ (KD) 16×40上級	→
欧州材	製材品 (現地挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 間柱 2.7×10.5×3m S4S FOHC	→
			ホワイトウッド ラミナ 2.4×11.0×3m上 ラフ乱尺	↑
集成材	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 無化粧 JAS 5プライ	↗
			スギ 無化粧 JAS 5プライ	→
	欧州産	//	10.5×10.5×2.98m	↗
合板	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	タイプ2 F☆☆☆☆ 2.3mm厚 3×6	→
			タイプ2 F☆☆☆☆ 4.0mm厚 3×6	→
			型枠 12.0mm厚 3×6	→
			針葉樹構造用 12.0mm 3×6 F☆☆☆☆	→